

令和7年
11月号

地域おこし 協力隊新聞

阿智村産業振興公社
熊谷 萌

めに干し柿や干し芋、みかんなどの農作物本来の甘味や旨味を多く享受できる季節なのですべてを享受しその分頑張つて動けたり動こうと思ひます！

最近、秋ごろから今の時期に至るまで嬉しいことがありました。

それは、様々な地域の物販イベントに参加したり、お客さんから直接お話を聞いた際に、「リピーターさんや□□□」を聞いて来てくださいた方が増えてきているのが実感できました。特にわかりやすい

私は毎年のことながら天気予報をよく見ていなかつたため、衣替えが追いつかず何度も袖の短い服や薄い服の上にダボッとした作業着を着て凍えながら過ごしていました。

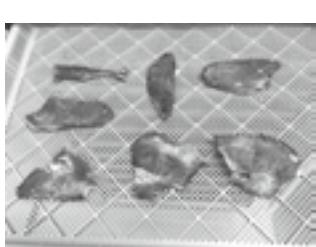
衣替えの作業をしながら「来年はいつそ夏専用フローゼットと冬専用クローゼットを横に2つ並べて1年中服を出しておけば楽なかなあ」となんてぼんやりと考えていましたが、複数あっても邪魔だらうし、きっと来年の今頃も凍えながら過ごしているだろくなつて思います。

しつこれを機に代謝の良い体作りを目指してみようかと思います。

ありがたいことに今は鍋料理をはじ

るのは、お客さんの一言曰が「ここ村、星が綺麗らしいよ」から「ここの野菜、去年買って美味しかったのよ」、「今年も来てくれるの待つた」など阿智村の出店を目当てに来てくれるような言葉に変わりつつあることです。夏、秋は特に県外での大規模のイベントが多くたのですが、そんな中でも阿智村を身近に思ってくれる方、好んでくれる方が増えていることが知れて何よりも嬉しかったです。

地域おこし協力隊として阿智村に着任するまでは、ほとんど料理をすることもなかつたため、解体の際の包丁の扱いには苦労しております。この時期の鹿は脂が多く、一頭作業すると包丁に脂が付着して、思うように皮などを切ることが出来なくなってしまいます。加えて、包丁研ぎの技術も未熟なため、その点も改善していくことが今後の課題です。



とても手際がよく短時間で作業を完了されるので、鹿肉の品質は食肉としてとても良い状態です。
さて「ペツトフードの鹿肉ジャーキー」の作成状況ですが、「令和七年度 長野県地域発元気づくり支援金」を活用して導入した乾燥機を用いて試作をしております。テストマークをしていただける方に、出来上がりたジャーキーの試作品をお渡ししてワンちゃんに食べてもらつたところ、概ね良い評価をいただいています。改良すべき点もまだ色々ありますので、品質向上を目指して試作を続けて、年内の商品化を目指しておりますので、どうぞ宜しくお願ひいたします。

建設農林課
小田 智

とも手際がよく短時間で作業を完了されるので、鹿肉の品質は食肉としてとても良い状態です。
さて「ペツトフードの鹿肉ジャーキー」の作成状況ですが、「令和七年度 長野県地域発元気づくり支援金」を活用して導入した乾燥機を用いて試作をしております。テストマークをしていただける方に、出来上がりたジャーキーの試作品をお渡ししてワンちゃんに食べてもらつたところ、概ね良い評価をいただいています。改良すべき点もまだ色々ありますので、品質向上を目指して試作を続けて、年内の商品化を目指しておりますので、どうぞ宜しくお願ひいたします。



阿智村産業振興公社
山田正剛

こんちは、地域おこし協力隊の山田です。秋も深まり、朝晩は少し肌寒く感じる季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

先日、市田柿の収穫がついに始まりました。畑一面に実った柿畠の風景が、とても美しいですね。最近の活動は、この収穫シーズンに向けての準備作業が中心でした。

主な活動は、収穫した柿を干すための加工施設の組み立てです。単管パイプを一本一本組み上げて骨組みを作るところから始め、基礎となる水平と垂直を正確に出す作業には苦労しましたが、安全に、しっかりと支えられるよう、丁寧に進めました。

また、収穫作業を効率的に進めるために、事前に柿畠の草刈りを済ませたり、収穫した柿を入れるコンテナを一つひとつ洗浄したりと、準備を整えました。作物を育てるだけでなく、こうした一つ一つの準備作業が美味しい市田柿づくりに繋がっていました。



これから収穫と加工作業の忙しい日々が始まります。市田柿の生産に少しでも貢献できるよう、一つ一つの作業に心を込めて取り組んでまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

阿智村の地域おこし協力隊として活動して半年がたちました。周りの皆さんのおかげで日々充実した生活、活動ができるようになりました。公社でも、夏の野菜栽培も終了し、冬の一番の作業である市田柿づくりに向けて取り組んでいるところです。

ビールハウスの地面を整地しきれいにシートを敷いた上に、干場を単管パイプで組み、柿剥き機を設置しました。市田柿づくりで使用する様々な、しかも大量の道具もきちんと洗浄しました。市田柿については、南信地方の特産品として有名で、兵庫県に居た時にもスーパーでよく見かけてはいたものの、正直、干し柿自体あまり好きでなく、買つてしま



阿智村産業振興公社
松浦末洋



食べたいとも思ったことがなく、特に手に取ることもありませんでした。(実家の父が自宅の柿を干して自分で干し柿をくれるのですが...)こちらに来て、はじめて市田柿をいたしました。とてもおいしく、全くの別物。そのまま食ってもおいしく、クリームチーズやヨーグルトと一緒に食べても抜群でした。おいしい干し柿を作るのをとても楽しみにしながら日々の作業を進めています。

☆庭先においていたスリッパがなくなる事件が発生しました。

はじめはどこかに飛んでしまったかと思つて、草むらや風の吹きだまりになりそうな所など周辺を探していましたが見当たりませんでした。再度スリッパを購入し、一度履いただけで、次の日に片方が。翌日もう片方が消えました。私の熱烈なファンがとつていったのだと思います。夜、私のスリッパを履いてうろつく狐(たぬき?)と出会うのを楽しみにしています。